

第63回 MESH 環境デザインセミナー



2008年1月18日(金) 18:30 - 20:10
(18:00 受付開始)

愛知芸術文化センター12F
アートスペースE・F
名古屋市中区東桜一丁目13番2号
052-971-5516

- セミナー参加費=1,000円
- 懇親パーティー=4,000円



主催
MESH (環境提案協会-中部)
後援
JCD (社団法人日本商環境設計家協会中部支部)
JID (社団法人インテリアデザイナー協会中部事業部)
SDA (社団法人日本サインデザイン協会中部地区)
CIP (有限責任中間法人中部インテリアプランナー協会)
国際デザインセンター
協力
名古屋大学
名古屋工業大学
愛知淑徳大学
椋山女学園大学
名古屋デザイナー学院
トライデントデザイン専門学校
株式会社スペース
松下電工株式会社
コイズミ照明株式会社

『デザインと社会の関わり方』と『精神的な豊さ』 ~社会をクリエイション~



講師: 柿谷 耕司 (Koji KAKITANI)

- 1960年 1月4日生まれ
- 1981年 プラスチックスタジオ&アソシエイツ入社 6年間在籍。
- 1987年 柿谷耕司アトリエ設立。
- 1996年 芝浦「ASR」ナショナルライティングコンテスト '95 新人賞受賞
- 1997年 ナショナルライティングコンテスト '96 ナショナル賞パー「DECADE」
- 1998年 ナショナルライティングコンテスト '97 奨励賞「Incubate」
- 2002年 上野創作和食料理「旬」
- 2003年 六本木ワインバー「ef」
- 2004年 東神奈川 cafe KUBOTA 食堂
- 2004年 株式会社アルパローザ「MY TANE」原宿店
- 2004年 株式会社アニュー / 自然食品の店「anew」高輪店
- 2004年 ナショナルライティングアワーズ '03 優秀賞「Sony Plaza」熊本店
優秀賞「ALBA ROSA」広島店
- 2005年 関東学院大学非常勤講師
- 2006年 家具製作
- 2007年 東京電機大学非常勤講師

●コメンテーター



加藤和雄
建築家・デザイナー
加藤和雄 / 状況空間研究所 所長



堀越哲美
都市環境プランナー
名古屋工業大学大学院教授



鳥居佳則
インテリアデザイナー
鳥居デザイン事務所代表



「旬」



「HOMERO」



「sumile TOKYO」



「MYTANE」



セミナー会場

■テーマ デザインと社会の関わり方 精神的な豊かさ社会をクリエイション

講師: 柿谷 耕司 (Koji KAKITANI)

- 1、プロジェクトに対して何をすべきか、誰に何を提案して行くのか?
- 2、企業(クライアント)を考え、見る(感覚的マーケティング)
- 3、自分自身のデザインの考え方(デザインの源泉)

デザインによる問題解決にはコンセプトが大事で弱い理念に強いデザインは出来ない。現在の自分のデザインの源泉は、子供の頃の体験や、記憶その断片が根源になっている。裸電球の明かりや、カヤの中での記憶、自分が育った金沢は雨が多く太陽に憧れる感覚があったと思う。いま作品を作る事で子供の頃の記憶が蘇り、それが新しい自分の発見につながっている。



柿谷 耕司 氏



作品紹介

- ASR東京…300坪のスポーツショップ
- DECADE…引き算のデザイン、バーとして最小限の空間
- ミナミ青山本店…メタル、木を使う
- ソニープラザ…構築的なデザイン、商品を包み込む発想
- ALBA ROSA MYTANE…ブランドショップをどう考えるか
- KUBOTA食堂…夕日、朝日を表現

ディスカッション

堀越: ALBA ROSA MYTANE が印象的だった。建築的な物からの脱却を意図しているのが良く分かった

柿谷: アルミパイプのグラデーションを使い動的で開放的な表現をした。

鳥居: 子供の頃の記憶夕日を人口光で表現しているのが良いと思った。

柿谷: 雪の記憶。デザインをやる事で子供の頃の記憶がよみがえってきた気がする。意味のあるデザイン、本当の感動は何かを良く考える。

加藤: 引き算のデザイン心の形、浮いているように見せると言う手法の社会性については? また、人口光を使った表現で、自然を表現したいのか? それとも人口的な物を表現したのか?

柿谷: 重力からの開放を意図している。浮遊感=開放感を感じてほしい。電球など暖かい光を使い自然を表現したい。光の感覚は自然の光を目指している。

鳥居: 間接照明は人間にどういう影響を与えるのか?

柿谷: すーと心地よく抜けて行く感覚。現実からの解放、その場に来た人が幸せになる事を目指している。

-会場からの質問-

間接照明だけでは人間の顔は良く見えないのではないか?

柿谷: それは良いご批判だと思うが自分はそう思っていない。光と素材をよく考え、人が幸せになれる空間を作って行きたい。